

奈良女子大学 記念館 見学のご案内

奈良女子大学記念館は、守衛室・正門とともに国の重要文化財に指定され、一階は展示室、二階は講堂として活用されています。外観については守衛に申し出て、構内に立ち入り、自由に見ることができます。

大会場より徒歩5分程度の距離です。希望者は自由に訪れることができます。

ご案内は下記の1回のみ行います。



日時：12日（金）10:30

集合場所：salono 1（受付のある部屋）

（長谷川テルと奈良女子大学）

奈良女子大学は前身が奈良女子高等師範学校で、長谷川テル（照子）（1912,3,7～1947,1,14）は1929年ここに入学。1931年エスペラント学習を始め、1932年9月、左翼運動に関係しているとして検挙され、数日間拘留され、ここを放校となりました。その後、東京に戻りエスペラント活動をしていました。1936年3月既に長谷川テルは中国人留学生劉仁と交際をしており、秋、二人は両親に告げず結婚し、1937年4月15日、横浜より上海に向かいました。そして日中戦争の最中、中国で生きていくこととなります。

出典（要文社発行 利根光一著 テルの生涯）

下 二階講堂内部 関西エスペラント大会 右 テルと夫劉仁



第46回 関西エスペラント大会 1998年6月13日・14日 於 奈良女子大学記念館

